

防水関係

部位	劣化度	現状仕上	現状	参考写真No.	参考及び改修工法の提案
屋上 (塔屋屋上)	●	アスファルト防水 シルバー塗装仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・経年の風化、劣化による保護塗料の消失 ・小さなふくれが平場全体に及び、水溜りが発生 ・ルーフィングのジョイントに亀裂が発生 ・立上り入隅部のふくれ ・パラペット部の天端モルタルの劣化 ・パラペット部のシーリング劣化 	B-1～B-7	<p>(参考) ふくれ等のアスファルト露出防水特有の劣化が進行している。竣工後10年を経て今後さらに劣化の進行が懸念されます。</p> <p>(改修方法) 既存の防水層の撤去の必要がなく、施工時に火気や臭気の心配のない塩ビ系防水シート絶縁工法ダイヤフォルテDR-122HF工法が最適であると判断されます。 ※別紙「防水仕様書」参照</p>
エントランス屋上	●	アスファルト防水 シルバー塗装仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・経年の風化、劣化による保護塗料の消失 ・小さなふくれが平場全体に及び、水溜りが発生 ・ルーフィングのジョイントに亀裂が発生 ・ルーフィングの表層の剥離 ・立上り入隅部のふくれ ・パラペット部の天場モルタルの劣化 	B-8～B10	<p>(考察) ふくれ等のアスファルト露出防水特有の劣化が進行している。劣化の度合いは屋上より激しい。</p> <p>(改修方法) 既存の防水層の撤去の必要がなく、施工時に火気や臭気の心配のない塩ビ系防水シート絶縁工法ダイヤフォルテDR-122HF工法が最適であると判断されます。 ※別紙「防水仕様書」参照</p>
集会室屋上	●	アスファルト防水 シルバー塗装仕上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・屋上、エントランス屋上と同様と推察される。 	B-11～B-12	<p>(考察) 劣化の度合いは屋上と同様と考えられる。</p> <p>(改修方法) 既存の防水層の撤去の必要がなく、施工時に火気や臭気の心配のない塩ビ系防水シート絶縁工法ダイヤフォルテDR-122HF工法が最適であると判断されます。 ※別紙Ⅲ-2-2「防水仕様書」参照</p>

以下省略